

# 第2回「次世代の環境発がんを考える会」 市民公開シンポジウム

<http://www.jkhkk.com>

- 「今、ふたたび、環境発がん！」 -

入場無料  
(定員120名)  
先着順

「次世代の環境発がんを考える会」代表 樋野 興夫 (順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授)  
顧問(順不同) 原田 明夫 (東京女子大理事長、元検事総長) 木村 利人 (恵泉女学園大学学長、日本生命倫理学会会長)  
菅野 晴夫 ((財)癌研究会顧問) 杉村 隆 (国立がんセンター名誉総長)  
増田 優 (お茶の水女子大学教授、知の市場会長、化学生物総合管理学会会長)  
小川 秀興 (順天堂大学理事長、日本私立医科大学協会会長)

日時：2011年11月26日(土曜日) 13:00～

場所：アットビジネスセンター大手町 三菱総研ビル1階 セミナー室  
(東京都千代田区大手町2-3-6)

## \*\*\*\*\* プログラムのご案内 \*\*\*\*\*

総合司会：森 まどか アナウンサー

開会挨拶：杉村 隆 (日本学士院会員、国立がんセンター名誉総長)

### 13:15 「治療モニタリングバイオマーカー」 座長：高橋 和久 (順大・呼吸器内科)

- 1) 森 貴紀 (順天堂大学・呼吸器内科)  
中皮腫の治療モニタリングマーカーとしてN-ERCは有用である
- 2) 佐伯 春美 (順天堂大学浦安病院・病理診断科)  
卵巣癌におけるERC/mesothelin発現

### 13:55 「アスベスト・中皮腫検診」 座長：辻 篤子 (朝日新聞論説委員)

- 3) 五十嵐 清子 (財団法人 東京保健会 病体生理研究所)  
大型研究型検診における血液検査の取組み
- 4) 廣橋 朋子 (順天堂大学 病理・腫瘍学)  
バイオマーカーの意義と大型研究型検診(土建)の進捗

### 14:35 「疾患モデル」 座長：島田 義也(放医研)

- 5) 三好 千香 (国立がん研究センター東病院・臨床開発センター)  
マウスERC/mesothelin測定系の確立と隣がんモデルマウスの病態評価への応用
  - 6) 安達 修一 (相模女子大学 栄養科学研究科管理栄養学科)  
環境発がんモデルの開発 (ナノ材料投与ラットにおけるERC測定)
- 特別発言 福島 昭治 (中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター所長、  
大阪市立大学名誉教授)
- 放射線の内部被曝による影響：チェルノブイリ膀胱炎について

### 15:30 「特別講演」 座長：菅野 晴夫 (がん研究会 顧問)

長瀧 重信 先生 (長崎大学名誉教授、元(財)放射線影響研究所理事長、  
国際被ばく医療協会名誉会長)

放射線の健康影響を巡る「科学者の社会的責任」

閉会挨拶：樋野 興夫 (順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授)

主催：「次世代の環境発がんを考える会」 共催：相模女子大学アスベスト障害予防研究センター

後援：日本がん疫学・分子疫学研究会、順天堂大学大学院がん生涯教育センター 文部科学省採択事業 がんプロフェッショナル養成プラン、  
環境発がん研究センター、メディカル朝日、読売新聞東京本社、東京新聞、日経ラジオ、日本病理学会、日本癌学会、石綿・中皮腫研究会、

日本対がん協会、独)放射線医学総合研究所、厚生労働省 協賛：株式会社免疫生物研究所

【お問合せ先】「次世代の環境発がんを考える会」事務局 E-mail: [jimukyoku@jkhkk.com](mailto:jimukyoku@jkhkk.com)